

平成27年12月 資金需給見込み

平成27年12月3日
上田八木短資株式会社

(単位:億円)

| | 見込み | (前年実績) | (前年比) |
|--------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 銀行券要因 | △ 52,800 | △ 52,995 | 195 |
| 財政等要因 | 17,400 | △ 27,910 | 45,310 |
| 国債等 | 45,400 | 34,677 | 10,723 |
| 国庫短期証券等 | △ 38,800 | △ 85,257 | 46,457 |
| 租税 | △ 76,400 | △ 70,500 | △ 5,900 |
| 社会保障 | 13,700 | 14,700 | △ 1,000 |
| 交付金 | △ 1,400 | 1,100 | △ 2,500 |
| 公共事業 | 3,400 | 3,900 | △ 500 |
| 一般その他 | 11,300 | 11,500 | △ 200 |
| 財政融資 | △ 4,900 | △ 3,800 | △ 1,100 |
| 外国為替資金 | - | △ 1,500 | 1,500 |
| 保険 | 37,500 | 38,000 | △ 500 |
| 特会その他 | 21,100 | 22,200 | △ 1,100 |
| 資金過不足 | △ 35,400 | △ 80,905 | 45,505 |

(日本銀行・財務省公表資料より。財政等要因の内訳は主要項目のみ。)

1. 銀行券

銀行券要因は、年末資金需要に伴う増発が大きく見込まれることから、5兆2800億円の発行超と予想される。(12月末銀行券発行残高前年比見込み+5.8%)

2. 財政等要因

財政等要因は、不足要因として3月決算法人に係る法人税の中間納付・消費税の揚げ等や国庫短期証券の発行超があるものの、余剰要因として年金定時払い(15日)や大量国債償還(21日)等があるから1兆7400億円の余剰となる見込み。
なお、国庫短期証券売買オペにより日銀が取得した国庫短期証券のうち、12月中に償還期日が到来する金額は約5兆300億円である。

3. 資金過不足

この結果資金過不足は、3兆5400億円の不足となる見通し。

4. 日銀調節残高

(平成27年11月30日現在 単位:億円)

| | 11月末残 | うち12月中期日到来残高 | 期落ち比率 |
|-----------------|----------------|---------------|------------|
| 共通担保(本店) | 0 | 0 | - |
| 共通担保(全店) | 64,635 | 37,280 | 58% |
| C P 現先 | 0 | 0 | - |
| 成長基盤支援強化 | 51,360 | 6,800 | 13% |
| 被災地金融機関支援 | 3,161 | 0 | 0% |
| 貸出増加支援 | 252,012 | 479 | 0% |
| 国債買現 | 0 | 0 | - |
| 資金供給調節合計 | 371,168 | 44,559 | 12% |
| 売手入札 | 0 | 0 | - |
| 国債売現 | 0 | 0 | - |
| 資金吸収調節合計 | 0 | 0 | - |

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号 加入協会 日本証券業協会